

2021年
第2回
町田市議会
定例会
6.7～6.30

『ゆくのき学園の廃校見直しを求める請願』 全会派賛成・多数で採択！

日本共産党



市立小中一貫校ゆくのき学園校舎

町田市立小中一貫校ゆくのき学園（大戸小、武蔵丘中）を廃校にしないでほしいという請願が今議会に提出され、全会派賛成の圧倒的多数で採択されました。市教育委員会は、5月に策定した「町田市新たな学校推進計画」の中で、小学校42校を26校（廃校は18校）に、中学校20校を15校（廃校は6校）に統合するとし、ゆくのき学園も含まれていました。請願者は陳述で、児童生徒一人一人にきめ

「大戸地区の宝、住民の
よりどころ」ゆくのき学
園をずっと残してほしい

一般会計補正予算には、小規模保育所整備、高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業費など市民要求が反映した一方、学校統廃合促進の予算が計上されたため共産党は反対。予算は賛成多数で可決しました。市民から「都・国に対し『命を守るため、今すぐ東京五輪・パラリンピック開催中止の決断を求める意見書』の提出を求める請願」が提出されましたが、共産党など賛成少数で不採択となりました。

細やかな9年間の継続的指導を行う本校を、学校、保護者、地域は力を合わせて築き上げてきた。また、小中学生が同じ校舎で過ごす中で、互いに思いやる心をはぐくんできた。ゆくのき学園をずっと残してほしいと訴えました。

共産党、「少人数学級の成
果に学び、ゆくのき学園の
存続」を賛成討論で要求

学校教育部長は、ゆくのき学園に対する思いや不安は思料するが、「新たな学校づくり」（統廃合）は大切な取り組みであり、請願の願意に沿えないと答弁。

日本共産党は、ゆくのき学園設立の趣旨について質疑。担当課長は「少人数ならではの特徴を生かし、きめ細やかな指導を継続して行うこと」と答弁しました。賛成討論では、「ゆくのき学園は少人数学級など豊かな教育を目指す取り組みで成果を上げてきた。この経験に学び、学園をこの地域に継続することに意義がある」と発言しました。

2021年一般会計補正予算案に反対

小中学校を
3分の1も
減らす計画

日本共産党市議団は、「新たな学校づくり推進事業」が含まれる2021年町田市一般会計補正予算に反対しました。推進事業は市内小中学校62校を41校に、3分の1も削減する統廃合計画で、うち3地区8校は「統合新設校基本計画」（学校名・教育目標・統廃合時の教育的配慮、通学の負担軽減・安全対策、新設校建設基本計画）の検討を今年度から開始するとしています。子どもや保護者、地域にとつて決まったこととして計画が進められることは問題です。また、コロナ禍に少人数学級が求められているときに、学校施設的大幅削減計画は中止すべきです。

小中学校統廃合計画			
学校名	学校候補地	基本計画着手目標年度	想定統合年度
本町田東小	○	2021	2025
本町田小			2028
町田第三小			
南第二小	○	2021	2025
南成瀬小			
鶴川第二小	○	2021	2026
鶴川第三小			
鶴川第四小	○		2026
小山田小		2024	2031
小山田南小	○		
薬師中		2024	2027
金井中	○		
忠生小		2025	2030
山崎小			
図師小	○		
町田第三中		2025	2031
山崎中			
木曾山崎公園	○		
山崎小		2027	2030
七国山小	○		

学校名	学校候補地	基本計画着手目標年度	想定統合年度
南第三小		2027	2033
南第四小	○		
町田第六小	○	2027	2031
高ヶ坂小			2036
南大谷小			
鶴川第一小	○	2030	2032
大蔵小			
鶴川第二中	○	2030	2036
真光寺中			
つくし野小		2030	2036
南つくし野小			
つくし野セントラルパーク	○		
忠生第三小	○	2030	2034
木曾境川小			
相原小	○	2031	2038
大戸小（ゆくのき学園）			
堺中	○	2031	2038
武蔵岡中（ゆくのき学園）			
成瀬台小		2033	2036
成瀬中央小	○		
忠生中	○	2033	2037
小山田中			
藤の台小		2033	2039
金井小			
金井スポーツ広場	○		

東京五輪開催準備と合わせて進められてきた、幼稚園や小中学校の「オリンピック・パラリンピック競技大会における学校連携観戦プログラム」。新型コロナウイルス感染症拡大や猛暑の中、見直されることなく計画が進められていました。日本共産党市議団は子どもの安全を守るために「学校連携観戦の参加中止」について一般質問で取り上げるとともに、6月23日、池川友一都議と町田市教育委員会に申し入れました。個人や団体から中止を求める要望が届き、他自治体も次々参加中止を決断する中、町田市教育委員会は学校の声も聞いて、7月8日にオリンピック・パラリンピックの学校連携観戦プログラムへの参加中止を発表しました。一方、東京都教育委員会はオリンピックの学校連携観戦を中止することを決めましたが、パラリンピックについては、観客上限を決める五者協議の後で検討するとしています。日本共産党は、学校連携観戦プログラムはもちろん、東京五輪の中止を求めてがんばります。



子どものオリ・パラ連携観戦
中止を市教委に申し入れ

中学校全員給食 2025年度中に全校スタート

田中美穂市議は、一般質問で中学校全員給食について取り上げました。給食センターの整備予定地については、旧忠生六小跡地、金井スポーツ広場、南成瀬・東光寺公園の3ヶ所が提示され、1ヶ所目は2024年度中に提供開始、その他を2025年度中にスタートすると学校教育部長が答弁しました。中学校のエレベーターの設置を2025年度までに新規に9校行い、給食の配膳にも利用できるとのことです。早期の全校設置を引き続きもとめていきます。行政報告では、「（仮称）町田市中学校給食センター整備基本計画」の策定について、「食をメインとした健康づくり活動等の提供・支援」「食に関する防災機能の向上」が3ヶ所共通の考え方として示されました。